

学校だより 麦の穂



令和5年度6月号 5/26 発行
富士宮市立富士根南小学校
全校児童 983人(±0)
電話番号 26-2522
ホームページアドレス



学校教育目標

夢をもって、自ら考え 共に学ぶ子

学校経営目標

判断力を高め、笑顔・思いやりあふれる学校づくり

<http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/e-school/08fujineminami/>

「学校ホームページ」は、1年半で271000件(1日平均500件)のアクセスがあります。ぜひ、ご覧ください。

5月8日から新型コロナウイルスの感染法上の類型が2類から5類に移行し、学校生活はコロナ禍以前の本来の姿に戻りつつあります。5月13日(土)の授業参観は、3年ぶりに制限のない形式となり、たくさんの家族の皆様に子供たちの生き生きと学ぶ姿を見ていただくことができました。

現在、子供たちの生活は「マスクを着用しないこと」が基本となっていますが、学校での様子を見てみると、まだ半分以上の児童はマスクを付けており、高学年にいくに従って着用率も高いように見えます。これから、暑さが増してきますので、登下校時や体育、遊びの際など、**マスクを外す指導**も折を見て行っていきます。

また、健康観察アプリ「EBER」は、**6月1日**を目途に①出欠席と②健康状況の報告が基本となります。(※6月6日からプール問診が加わります。)

これからも学校は、換気や手洗い、3密の回避などを意識しながら、豊かな学びに満ちた学校生活が継続していきます。御理解と御協力を引き続きお願い申し上げます。



■児童会スローガン「仲間を思いやる、仲良しな学校」へ 校長 風間 裕之

児童会のスローガンが決まりました。児童会代表委員会で出された意見を受け、児童会運営委員がどんな学校にしたいのか様々な視点から意見を出し合い、決めたスローガンです。

日本の子供は世界の子供たちに比べ、世の中を自分たちで変えることができないと考える子供が多いと言われています。すぐに答えを出してくれる多くの大人に囲まれ、誰かに指示された通りに行動することばかりに慣れてしまっていることや、自分たちで課題を求めたり、自分たちで考えて課題を解決したりする経験が以前よりも減ってきていることなどが原因として考えられます。

少子高齢化が進む中、子供たちが自分たちの未来を創造していくためには、自分たちの力で自分たちの生活や自分たちを取り巻く環境を変えていけることを実感していくことが大切です。そこで、重要な視点となるのは、「多様な仲間と協働する」こと。いろいろな考え方や多様な価値観をもつ友達と協力し、お互いが納得できる答えを導き出して行動することです。幸い、富士根南小は他校に比べてとてもたくさんの、そして多様な仲間と一緒に生活する学校です。まずは、各学級での係活動、学級活動、そして、児童会代表委員会、委員会活動などを通して、これからの世の中の様々な課題を自分たちで解決していこうという意志と力を育んでいきたいと考えます。

児童会のスローガンの下、富士根南小の校歌の歌詞にある「自治の花咲く」学校づくりに取り組む子供たちへの応援をよろしくお願いいたします。

